



国際会長

2020-2021年度主題

Jacob Kristensen (DK)

「価値観・エクステンション・リーダーシップ」

“Values, Extension and Leadership”

アジア太平洋地域会長 David Lua (SG)

「変化をもたらそう」 “Make a Different”

東日本区理事

板村哲也 (東京武蔵野多摩)

「変化をたのしもう」 “Let's enjoy Changes”

クラブ会長

鈴木 茂

「相手の立場に立って考え、行動しよう！」

スローガン：「思いやりのあるクラブ運営」

2019-2020 クラブ役員

会長 鈴木 茂

副会長 辻 剛

書記 今城 高之

会計 鈴木 恭子

**今月の成句**

「そのように、あなたがたの光  
を人々の前に輝かしなさい。

人々が、あなたがたの立派な  
行いを見て、あなたがたの天の父  
をあがめるようになるためである。」

(マタイ福音書5:16)

**《巻頭メッセージ》 つながる**

山添 訓

2021年もスタートして、2か月が過ぎようとしています。  
新型コロナウイルスについては、お付き合いから1年が経ち、  
2度目の緊急事態宣言が出され、生活にも仕事にもワイズの  
例会にも、教会にも大きな影響を与えております。それぞ  
れ予防策を講じて対応をしておりますが、さらに一人ひと  
りが自覚をもって行動しないといけないと感じる今日この  
頃です。



YMCAにおいても、この新型コロナウイルスにより、対面でのプログラム活動も  
人数制限やソーシャルディスタンス、マスク着用、手洗い、うがい、アルコール消毒  
などの対策をしながら展開をしております。プログラムによってはオンラインを使って  
行うようにするなど、新しい生活様式に合わせた取り組みも始まっています。今後  
さらにオンラインでの取り組みは進んでいくことと思います。

**向**こう三軒両隣という言葉があります。現代は、マンション住まいの方も増え、  
昔ながらの近隣住民との交流や支えあいが薄れてきていると言われ、他人のこ  
とに目を向ける人が減ってきているように感じます。そんな中、この新型コロナウイ  
ルスによって、人との距離を取らなくてはいけなくなり、さらに人と人との気持ち  
が離れていってしまうのではないかと感じたりします。自分の兄弟や親に会うので  
さえ、気を遣わなくていけない世の中であり、オンラインや電話などで表情をみたり  
会話をしたりすることはできるけども、何か物足りなさを感じるこの気持ちは私  
だけでしょうか。こういう状況の中で、「つながる」とはどういうことなのかと考  
えさせられます。

**私**の名前は訓(さとし)ですが、聖書(口語訳)のヘブル人への手紙12  
章5節～6節にある『わたしの子よ、主の訓練を軽んじてはいけない。主に責めら  
れるとき、弱り果ててはならない。主は愛する者を訓練し、受け入れるすべての子  
をむち打たれるのである。』

からいただいた名前です。そんな私は、今の世の中のこと、もしかしたら、神様  
から、『「つながる」「人に寄り添う」とは、どうということなのかを考えなさい。』  
と問われているのかなと思ったりしています。

**最**後になかなか、例会に出席できず、放蕩息子のようになっていますが、い  
つも皆さまの祈りに支えられていることを覚え、感謝しております。

皆さまの健康が守られますようにお祈りしております。

また、皆さまと気兼ねなく親睦の時間が持てることをせつに願って。 (完)

**2月本例会**

日時: 2月26日 17:00~

形式: Zoom

司会: 今城T、(受付: 岡崎)

**～プログラム～**

1. 開会点鐘 会長
2. ワイズソング・信条 一同
3. 今月の聖句・祈禱 チャプレン
4. ゲスト・ビジター紹介
5. 会長挨拶
6. 卓話 北Y館長 鴨下純久さん  
テーマ: 『YMCAと私』
7. 協議事項
  - 7-1 東日本大震災10年誌  
寄稿者の件
  - 7-2 2021-22年湘南沖縄部  
事業主任選任の件
8. 今後の行事予定 (別掲)
9. 活動報告
  - 1) 東日本区
  - 2) 湘南・沖縄部
  - 3) つづきクラブ
10. YMCA報告
11. Happy Birthday  
山添 訓 (2/17)
12. 閉会点鐘

## 《例会報告》

2021年1月度本例会

報告者 林 茂博

日時：2021年1月22日（金） 17:00～18:30

会場：かけはし都筑

参加者：相賀、今城 T、岡田 M、鴨下、坂口、  
鈴木 S、辻 T s、林 S、横田、  
総会委任状：7名

1月本例会は、新型コロナウイルス感染防止の非常事態宣言発出中ではありましたが、坂口直樹さんの入会式と会則に定められた総会をメインプログラムとして開催されました。

入会式は、東日本区監事・湘南沖縄部エクステンション委員長・次期クラブ会長の辻さんを立会人に、鈴木会長が式文を読み上げ、坂口さんは「入会します」とはっきりと宣誓され、皆で祝福の拍手を送りました。

引き続き総会に移り、定足数が満たされていることを確認し、鈴木議長により進行されました。

### 1号議案 2021-2022年度クラブ役員並びにクラブ役割分担の件

辻次期会長から、提案に至る経過報告があり、意義なく承認された。

### 2号議案 2020-2021年度東日本区献金の件

鈴木会長から、「前年度と同様に区の目標額をまじめに献金したい」と、提案趣旨の説明があり、意義なく承認された。

### 協議事項

「緊急事態宣言に伴う今後のクラブ行事活動について」鈴木会長は次のように提案された。

2月事務例会・2月本例会・3月事務例会まで、緊急事態宣言が継続していれば、紙上の例会とする。

3月本例会は、状況が許せば「かけはし都筑」で例会を開催したい。

リモート開催の是非について、さかんな意見交換がなされたが、「今後も検討を継続する」との結論で締めくくられました。

### 報告事項

\* 国際役員の投票を行った。

\* 1月1日半年報で、湘南沖縄部は97名となり、7月から4名減となった。

\* 善意銀行配分金募集に、ノートパソコンの購入を申請する。

### YMCA報告

\* チャリランは目標を達成して無事終了。当クラブスポンサーチームは、26位だった。

\* 2月11日会員大会はリモート開催となるが、是非参加を！

### Happy Birthday

胡麻尻さん、1/10、鴨下さん1/16



入会の宣誓をする坂口さん



ご入会おめでとうございます!



辻副会長によるバッジ装着



《新入会員紹介》 コロナ禍で陰鬱な日々を吹き飛ばすような、おめでたい出来事にクラブメンバー全員心より喜んでいました。昨年秋に卓話をしてくださった坂口直樹さんが、暮れに入会を決断され、新年1月の本例会で入会式が執り行われました。自粛のため参加できなかったメンバーがいたり、終了後の歓迎会が出来なかったのは残念でしたが、春の訪れを告げる嬉しい出来事でした。坂口さんより以下のご挨拶を頂きました。入会式の詳細は前頁の例会報告をご覧ください。

昨年10月例会で情報セキュリティの卓話をさせていただき、本年1月度本例会でワイズメンズクラブに入会させていただきました。まだまだ気持ちは青年なのですが年齢は高齢者の坂口と申します。私は、総合商社のシステム部門で長年サラリーマン生活をしてきましたが、定年を機に独立しITコンサルなんておこがましい名前で中小企業のシステム化を支援しています。

さて私と横浜YMCAの関係は3年前にYMCA健康福祉専門学校に入学したことからでしょうか。昨年、社会福祉科をめたく卒業し国家資格である「社会福祉士」を取得することができました。専門学校では相談援助（ソーシャルワーカー）を目指す仲間と毎週のように集まり、YMCAが編み出したグループワーク手法を中心に、生活課題のある利用者の生活改善（ふくし＝普通の暮らしのしあわせ）に向けた気づき発見や潜んでいる力を見出す相談援助を学びました。多くの社会福祉士が「かけはし都筑」のような社会福祉の現場で活躍しています。なぜITオタクが福祉なのと疑問もありますよね。実は私の妻が13年前病気になり1年間の闘病生活の後なくなりました。その時、介護ケアマネや訪問看護師など多くの方に心身ともに大変助けられま

した。その恩返しがしたいと思ひ社会福祉士を目指したのです。これを今後どのように社会に活かせるか思案のしどころです。

話しはITに戻りますが、2045年までにAI（人工知能）が人間の能力を超え、多くの方が職を失うらしいというシンギュラリティ（技術的特異点）が話題です。私はコンピュータが人間にとって代わるのではなく、人間がもっと人間らしい能力を発揮する時代が来ると信じています。それは、人間力や思いやりの心であり地域社会の共助だと思ひます。早くコロナ禍が収束し、みなさまと一緒にAIに負けない人間力を成長させたいと思ひます。最後に、本会に熱心にお誘いいただいた、ご近所会の鈴木 茂さんに感謝します。ありがとうございました。



坂口 直樹

《卓話のご案内》

つづきクラブ3月の例会（3月26日（金）17:00～）で卓話をしてくださるのは、湘南とつかクラブメンバーの吉原 訓（よしはら さとし）さんです。以下にご本人からいただいた略歴をご紹介します。当日の卓話のテーマは「横浜市議会裏話」で、横浜市民の私たちにはきっと興味あるお話が聞けることと楽しみです。

～略歴～

- 昭和22年3月27日 現住所生まれ 73歳
- 昭和47年 薬局開設
- 昭和56年 れすとらん柏尾 開店
- 平成2年より横浜市会議員 6期 務めました。
- 湘南とつかYMCA開館の同年 湘南とつかワイズメンズクラブ入会
- 現在に至る



《卓話・その2》

2月本例会の卓話は、当クラブ担当主事で横浜北YMCA館長の鴨下純久さんをお願いしており、『YMCAと私』のテーマで話して下さる予定です。なお、当日は、対面での例会は行わず、初めての試みとしてZoomを介してのリモート例会となる予定です。ご不便を感じられる方も多いとは思いますが、何卒ご協力いただきますようお願いいたします。Zoom接続方法など、詳細はおってご連絡いたします。



2021年1月のデータ



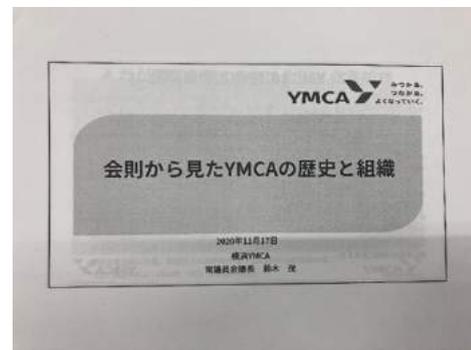
例会出席	名	在籍会員数	17名	各種記録	1月実績	年度累計
メンバー	名	月間出席者数	名	スマイル	0円	40,090円
ビジター	名	メーキャップ	名	—	—	—
ゲスト	名	月間出席率	%	—	—	—

早いもので今年度も残すところ1ヶ月と少となりました。振り返ると新型コロナウイルスの対応で始まり、その対応で終わる1年であったように思います。神奈川県に1月8日から今年2回目の緊急事態宣言が発出されましたが、県内では感染者の増加傾向が続き、緊急事態宣言の延長が政府から発表されました。この期間、神奈川県からの不要不急の外出自粛要請を受け、横浜北YMCAの活動も20時までの運営としています。緊急事態宣言発出後、横浜北YMCAのプログラムを一度退会される方、休会される方が増加しています。運動習慣があった高齢の方が定期的な運動を止めると、今まで動いていたのに動けなくなることが心配ですし、人との交流が少なくなることで活力がなくなることにも気になります。また、参加する多くの子どもたちは元気一杯なのですが、保護者の方々が万一の感染を心配していることで一度お休みすることが目立ちます。感染症対策を講じ、安心して参加できる環境を整えています。コロナ禍はホテルや飲食店のみならず、様々な業種に影響を及ぼしています。一日も早く事態が収束し、世界が平穏な日々に戻ることを願うばかりです。

今年度は「横浜北Yまつり」が実施できなかったため、例年、困難な状況にある国や地域のために使途している約50万円の国際地域協力募金が得られていません。そのため2月の1ヶ月を「チャリティー月間」として、参加会員や運営委員の方々、ワイズメンズクラブの皆さまに1口500円募金の協力を呼びかけていきます。ぜひ、皆さまのご協力をお

願います。

さて、横浜YMCAでは、毎年経験年数や役職に応じた職員研修を行っています。昨年11月に開催した管理職研修の一つを鈴木茂会長に講師を担っていただき、「会則から見たYMCAの歴史と組織」をテーマに講義をしていただきました。以前から鈴木茂会長がこのテーマをまとめていたことを存じ上げておりましたので、私自身、機会があればお聞きしたいと熱望していたものです。講義を通して、会員運動としてのYMCAの歴史や使命、日本YMCAの創成期から現在に至るまでの会則や会員組織の特色等をわかりやすくご指導いただき、YMCAの運動や事業が時代とともに変化する中で会則が変革したことを再確認することができました。鈴木茂会長は横浜つづきクラブの会長として、横浜YMCA常議員会議長として、横浜北YMCA運営委員長として、横浜YMCAと横浜北YMCAをお支えいただいています。改めて感謝を申し上げます。



## 《会長のひと言》

### 「新しい生活様式」とワイズの価値観

会長 鈴木 茂

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大は、私たちの生活態度や社会の仕組みに大きな変革を迫っていると同時に、ワイズの世界にも深刻な打撃を与えています。ワイズメンズクラブの国際憲法は第2条の「綱領と目的」で、ワイズが世界的な友好団体であり、活発な奉仕活動を通じて、より良き世界を築くべく尽力する旨を掲げています。その活動の特色は端的に言えば会員相互の会合、懇親、協働であり、そこにワイズは大きな価値を置いています。

ところが今回のコロナパンデミックは私たちに、「三密回避」、「社会的距離」（ソーシャル・ディスタンス）という「新しい生活様式」（ニューノーマル）を要求しています。この「新しい生活様式」はワイズの特徴である会合、懇親、協働の価値観を基本的に否定する要求であり、私たちは大きな戸惑いを禁じえません。

現に私たちはいま、本例会や事務例会をオンラインや誌上例会に切り替え、さまざまな奉仕活動を中止せざるを得

ない状況に追い込まれています。これまでのワイズの活動を中断しなければならないような事態は誠に残念でなりません。しかし考えてみますと、この「新しい生活様式」はワイズの特徴である会合、懇親、協働の大切さを改めて思い起こさせてくれているようにも思われます。コロナ感染が収束、沈静化した暁には、この会合、懇親、協働というワイズの大切な価値ある特色を“Change!2022”の会員増強運動に大いに活用したいと思います。（完）

《ご連絡》 通常であれば2月9日に開催されるはずの2月度事務例会は、新型コロナ感染防止の観点から「誌上事務例会」といたしました。また、2月の本例会は北YMCAスタッフとの交流会が恒例となっておりますが、今回は断念せざるを得ません。コロナ禍終息後、頃を見計らって交流会を計画いたします。なお、2月度本例会は、初めての試みとなるZoomによるものを計画しています。不慣れでご不便を感じられるメンバーもおられるとは存じますが、トライしてみますのでご協力ください。

## 《特別寄稿》

米寿を迎えた「すぷーん」での料理ボラ

辻 剛

・私たち、横浜つづきクラブは奉仕活動の一環として長年料理ボランティアを地元都筑区でNPO法人えだ福祉ホームが運営するグループホーム「すぷーん」で実施しています。この度米寿を迎えたのでコロナ禍の中「お家タイム」もタプリアること故、一度振り返ってみよう思いました。「米寿」などと言いますと88年も続けているのかと言われそうですが、昨年12月で88回を迎えたという意味です。

・必ずしも正確には記憶していませんが、この料理ボラは、私の手許にある記録では、2013年4月22日から第1～3週を女性2人のペアが担当し、第4週をわれわれ男性ペア2人が担当するという形でスタートしました。当初のメンバーは今城宏子さん、杉本和子さん、岡崎さよ子さん、辻孝子さん、福島佐世子さん、鈴木恭子さんなど多くの皆さんが担当してくださいました。その後は車の運転を止めた方とか色々な事情が重なり、現在では第1週(月)に今城宏子さん／杉本和子さんペア、第4週(月)を今城高之さん／辻 剛ペアが担当しています。

・因みにこれまで我々男性ペアが作ってきた主なメニューは以下のようなものです。

メニューは基本的には「すぷーん」の居住者の皆さんからのリクエストが7割、「お任せ」が3割程度の割合です。我々は未熟ものですから「お任せ」よりはむしろ「リクエスト」してもらった方がやりやすいです。これらのほとんどのメニューは複数回作っています。デザート類は以外と少ないです。

①サラダ(生野菜、春雨、ポテト、マカロニ、シーザー、リング、コールスロー、ほうれん草のお浸し)、②ロースト(トリ、豚)、③親子丼、牛丼、マーボー丼、④エビフライ、イワシフライ、トリ唐揚げ、コロッケ、メンチ、串カツ、⑤中華(餃子、シューマイ、チャーハン、春巻き)、⑥スープ(ミネストローネ、中華風、ワンタン、カボチャ、味噌汁、けんちん汁、お吸い物、たまごじ)、⑦リゾット(ドライポルチーニ&キノコ)、⑧パエリア、タコライス、ラザニア、グラタン、ロコモコ、⑨寿司(手巻き、チラシ、穴子)、⑩ハンバーグ(豆腐、デミグラスソース、和風)、⑪焼きそば、お好み焼き、あんかけ焼きそば、⑫パスタ・ソーめん(スモークサーモン、冷製、ミートソース、シーフード、タラコ)、⑬オープンサンド、⑭キーマカレー、⑮ビーフシチュー、ステーキ、ハッシュドビーフ、生姜焼き、⑯エビピラフ、栗ご飯、等々。

・メニューの内訳を見ますと、「和洋中」で分類するとやはり洋風が一番多く、その次が和風、次いで中華風という感じですが。メニュー的に一年を通じてのハイライトはなんといってもクリスマスの祝会です。このときは社協の支援制度などにもお世話になり、今城シェフが詰め物をしたトリの丸焼きに腕を振るい、今城宏子さん、岡崎さよ子さん、鈴木茂さんなど大勢が参加し、お好み焼き、サラダ、オードブルなど豪華なメニューが食卓を飾ります。何よりも楽しいのは、この時

だけは、居住者、職員の皆様とわれわれも一緒にテーブルを囲み、楽しいひと時を過ごしクリスマスを祝います。

・料理ボラ当日の行動パターンは概ね以下の通りです。今城ワイズを中川駅近くで16:00にピックアップしてセンター南駅近くのスーパー「青葉」でその日のメニューに合わせて食材を購入します。購入する前に「すぷーん」に電話して在庫のチェックをします。なるべく無駄な出費をしないためです。通常は、居住者5人と職員1、2名分を作ります。皆さんの食事は概ね18:00から19:00の間に始まりますのでそれまでに仕上げます。

通常は食事を作り終えたら皆さんが食事を始める前に帰ります。普段は居住者の皆さんも全員揃って食べるのではなく、お風呂に入っている人もいるしバラバラのようです。従って、味についての感想などを聞く機会は中々ありませんが、かわいいカードに「美味しかったです！」と書いたお礼状を何回もいただきました。2年前には、横浜つづきクラブとして横浜市社会福祉協議会からこの料理ボラに対して表彰を受けましたし、10年近くも続いていることからして、多少は喜んでいただいているのではないかと自負しています。

・しかし、この料理ボラを私たちは、あまり「奉仕」という意識ではやっていません。

料理は奥が深い創作活動です。私たちは料理をするのが好きですし、楽しいと思って作っています。もちろんプロとはちがいますが、半世紀以上家族の食事を作ってきたベテラン奥様方とも違います。そんなわけですから「男の料理」はどこまで満足していただいているかはわかりませんが、ときどきお世辞でも「美味しかったです」と云っていただければそれで十分です。

クラブのメンバーも高齢化しており、プログラムによってはこれまで通りの活動を続けるのは厳しい状態になってきています。しかし、この料理ボラは「すぷーん」の皆さまに受け入れていただける間は、そしてわれわれの体力、気力続く限りは、続けさせていたきたいと考えています。料理万歳!



(2019年12月9日、クリスマスディナー)

《特別掲載》 国際書記長のメッセージ

(国際会長ニュース No. 8 2021年2月 からの転載です)

年末の休暇を終えて、2021年1月4日には通常の業務に戻り、国際本部の機能が再開されています。ジュネーブが新型コロナウイルスのホットスポットであることに変わりはないため、可能な限り在宅勤務を採用すべきであることを規定した州および連邦政府の規制に従って、現地スタッフは、ほとんど自宅での勤務を続けています。パンデミックの問題にもかかわらず、私たちは、皆、安全に過ごしています。私たちは、良い精神で新年を迎え、2021年がより良いものになることを願っています。現在も続いている新型コロナウイルスによる渡航制限のため、ワイズメンズクラブ国際協会は、2021年2月に開催される予定だった、実際に集まって行う国際議会の年央会議と次期理事サミットを中止せざるを得ませんでした。2月は、タイム・オブ・ファスト (TOF) プログラムの強調月間です。TOF プログラムの資金集めは、私たちのクラブとパートナー組織である YMCA の非常に価値のある重要なプロジェクトを成功させるために不可欠なものです。新しい国際統一プロジェクト(UGP)である - Heal the World (世界を癒そう) - の導入により、皆さまのTOFへの支援はさらに重要になっています。TOFのプロモーションのための新しいビデオを公開しました。( [Time of Fast - Spirit of Y's Men - YouTube](#) ) からご覧ください。1月7日に国際事業主任の年央会議が開催され、すべての国際事業主任が報告書と行動計画を発表しました。標準的および必須のクラブ物品のための新しいカタログが作成されました。部/区/地域の皆さまは、「特別カタログとオンラインフォーム」をご

利用の上、ご注文ください。1月16日、特別なZoom ミーティングにて、2020-22 年度国際ユース代表 (IYR) のドワイト・トムリンソンが国際会長の司式によって就任いたしました。ドワイトの新しい役割での活躍を祈ります。100周年記念祝賀チームは、活発に活動していて、クラブレベルでの100周年記念のための100のアイデアを提案しています。パンフレットを見るにはここをクリックしてください。100周年記念奉仕プロジェクトの資金を調達するために、2,500米ドルの寄付に対して、100人の個人またはグループに終身名誉会員の称号を授与することが決定されました。右のチラシをご覧ください。詳しくは、ここをご参照ください。次期国際会長 (2021-2022) と次期国際議員の年次選挙がオンラインで行われ、1月29日に投票が終了しました。結果は、まもなく発表されます。2021年1月3日にインドのファリダバードで、地元の会員と他国からの会員で構成されるグローバルクラブとして新しいクラブが設立されたことは心強いことです。他の区や地域のクラブが、私たちの運動を拡大する可能性を求めていただくことに期待します。アジア太平洋地域では1月16-17日にZoomでの次期理事研修が行われ、インド地域では1月30-31日に対面での会議として次期理事、次期部長研修を行う予定です。私達は前進しています!

どうぞ安全と健康にお気をつけください。

国際書記長 ジョース・ヴァルギース

春らしい日差しが嬉しい今日この頃、お散歩の途中に多くの花が目映ります。満開の蠟梅を追うように白梅が、続いて紅梅が満開を迎えます。足元を見ると水仙があちこちに顔をのぞかせ、クリスマスローズも見られます。ちなみに、春咲きのクリスマスローズはレンテンローズとも呼ばれ、レント(受難節)のころに開花し、キリストの受難を思って頭を下げて咲くといわれています。花言葉は‘大切な人’‘私の心を慰めて’‘心配を和らげて’等、イースターへの希望に繋がりますね! (宏子)



《ご説明とお詫び》

既にお気づきの方もおられるとは存じますが、本号の発行番号(各頁トップご参照)が“NO. 177-2”と変則になっております。編集担当が過去のバックナンバーを辿ったところ、2020年6月号が『No. 169』で、年度が替わった7月号が『No. 171』となっていることに気がきました。No. 170が抜けていたのです。この通し番号を元に戻すため、2021年1月号No.177に続く2月号(本号)をNo.177-2と致しました。3月号はNo.178と元に戻ります。編集の不注意から混乱をきたしたことを心よりお詫び申し上げます。(編集子)

す。社てん。行ンク。て慣分し、わ。れ。と。て。ど。に。ト。会。▽  
 会。が。み。の。う。バ。い。から、っ。れ。な。互。配。江。当。△  
 訪。ま。そ。の。が。ー。シ。い。れ。から、た。も。な。い。信。田。ク。ラ。ブ。メ。ン。バ。ー。の。多。く。が。所。属。す。る。教。  
 べ。る。た。代。わ。り。に。い。じ。め。の。な。い。に。は。い。ま。す。不。便。だ。し、嫌。が。る。方。が。お。ら。  
 よ。う。い。じ。め。の。な。い。に。は。い。ま。す。不。便。だ。し、嫌。が。る。方。が。お。ら。  
 の。な。い。に。は。い。ま。す。不。便。だ。し、嫌。が。る。方。が。お。ら。  
 心。よ。り。願。っ。て。い。な。い。め。  
 編。集。子

○●○編集後記○●○